

平成27年度予算 政策的新規・充実事業一覧

(単位：千円)

環境政策局 予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
燃料電池自動車普及促進事業 ～水素エネルギーの普及拡大に向けて～	政府は、日本経済を確実な成長軌道に乗せるため「日本再興戦略」（平成26年6月改定）を策定し、「クリーン・経済的なエネルギー需要の実現」をテーマとして、水素社会の実現に向けた取組を進めている。 これを踏まえ、燃料電池自動車の普及啓発等に取り組み、COP3開催都市であり環境先進都市である京都市としての役割を果たしていく。	28,000	地球温暖化対策室 222-4555
国際的な地球温暖化対策の取組推進 ～京都議定書からパリ議定書へ～	平成27年11月下旬から12月上旬にフランスのパリ市で開催されるCOP21「気候変動枠組条約第21回締約国会議」は、京都議定書に代わる2020年以降の気候変動に関する国際枠組みが合意される重要な場となるため、パリ市や国連の公式協議機関であるイクレイ等と連携し、サイドイベントを開催し、本市の取組を世界に発信するとともに、新たな議定書の枠組みの中での自治体の役割について協議を行い、枠組み合意への機運を高める。	未定	地球温暖化対策室 222-4555
環境基本計画の改定	本市では、京都市環境基本条例に基づく環境基本計画として、平成18年度に「京の環境共生推進計画」を策定し、本市環境行政のマスタープランとして着実に計画の推進を行ってきた。 平成27年度末に、本計画の計画年限を迎えることから、施策の進捗状況や社会情勢の変化を踏まえた改定を行う。	5,000	環境企画部 環境総務課 222-3450
新たなごみ半減プランの推進 ～市民、事業者と共に創る循環型社会～	京都市のごみ量を、ピーク時（平成12年度）の82万トンから平成32年度までに39万トン以下に半減させるため、2R（そもそもごみを出さない「リデュース」、再使用する「リユース」）と分別の促進の2つを柱とする新たな「ごみ半減プラン」の初年度として力強いスタートを切り、2Rと分別の実践への周知徹底や市民と事業者の主体的な取組の推進・支援、また、適正排出に向けた指導強化などの施策を展開し、ごみ減量を加速させる。	56,000	循環型社会推進部 ごみ減量推進課 213-4930
観光地トイレのおもてなし向上プロジェクト (観光地トイレ整備・充実事業)	トイレは観光の一翼を担う「ホスピタリティ（おもてなし）」の場であるが、現状では「快適性」や「数」の面において課題がある。 このため、観光地の公衆トイレのリニューアルを行うとともに、「観光トイレ」として提供いただいている民間トイレへの支援を充実する。	55,500	循環型社会推進部 まち美化推進課 213-4960
環境政策局 合計		144,500	5件